

ランドスケープデザイン部門

—まちが美しくなるみどりづくり—

大阪府 知事賞

安満遺跡公園

【事業主】高槻市、UR都市機構西日本支社
【設計者】(公園) (株)空間創研、(株)地球号
(建築) (株)IINA新建築研究所
西日本支社
(防災公園事業エリア) (株)オオバ大阪支店
中央コンサルタンツ(株)大阪支店
【施工者】(株)富士グリーンテック西日本支店
大日本永商永大JV、大鉄工業(株)

Address

A 高槻市八丁畷町

Outline

高槻市の都心にある旧京都大学農学部付属農場を含む約22haの総合公園であり、そのうちの約13.7haは、弥生時代の集落遺跡として、国史跡安満遺跡に指定されている。

史跡公園整備と防災公園整備の2つの事業が一体となり、計画段階から学識経験者・市民等多様な参画・協働によって、「市民とともに育てつづける公園」をコンセプトに生み出された高槻市のセントラルパークである。中心市街地に近い西側の都市的空間、史跡指定地を含む中央・東側の歴史資産空間に分け、弥生時代から変わらない景観として安満山への眺望などの見通しを確保した施設配置を行い、周辺の街並や鉄道の車窓からも大きなインパクトを与える新たな修景景観、環境を創出した。

Review

本作品は史跡公園整備と防災公園整備の2事業によって創出された約22haの高槻市の総合公園です。中心部は弥生時代の環濠集落の居住域から構成され、そこには近代建築遺産である旧京都大学農学部附属農場の建物群がガイダンス施設やレストラン等として新たな息吹が吹き込まれています。環濠の外周部は弥生時代の伸びやかな空間が体感できる草原が展開し、背景に安満山を望む風景が展開しています。また、墓域や生産域(水田跡)もイメージ復元されるとともに、草原の一角には覆い屋(SAKURA広場)とふわふわドームが整備され、伸びやかな空間を背景に多くの親子連れや子供たちで活気あふれる風景が出現しています。公園エントランス部は環濠集落を望む軸性を持ったメイン園路からなり、左右に大きな軒を持ったパーキングターとお洒落なレストランが配され、オープンスペースを基調した都会的な雰囲気醸成されています。軒下の人工芝が広がる空間も子供たちや親子連れであふれかえっており、活気とともに温かみのある風景が展開しています。市民活動と適度な民間施設の立地によって、弥生時代をイメージした伸びやかなオープンスペースを基調としながら、活気と温かみのある風景が徐々に成熟されつつあり、公園の理念である「市民とともに育てつづける」が体現されています。(大阪府立大学 増田 昇)



大阪府 知事賞

守口市立さくら小学校

【事業主】守口市
【設計者】(株)昭和設計
【施工者】南海辰村建設(株)

Address

B 守口市東光町

Outline

2校を統合した公立小学校。地域の記憶の継承と新しい学校としての発展を目指して、それぞれで行われてきた地域との協働活動を融合・発展したコミュニティスクール。

100年以上前の大正時代から街を見守ってきた3本のクスノキを保存・活用した2つの中庭を囲む回遊性・対面性の高い学校とし、外部と内部が一体となり、学校全体が学びの場となる学校を目指した。廊下を廃してラボと名付けたメディアスペースを校内にネットワーク化し、学校全体を学びの場としつつ、地域活動の拠点を学校内に分散配置して、こどもたちの拠点をつくっている。

Review

さくら小学校は明治からこの地にあった小学校敷地に新設された小学校です。継承された緑とオープンスペースが、新しい小学校でありながらも、地域と学校の歴史を感じさせるものとしています。かつてのシンボルであった校内の3本のクスノキは、交流の核となる場所で継承され、その偉容を校内の様々な場所から感じ取ることができます。さらに、ケヤキを囲む中央の中庭は学年を越えた児童の交流、ケヤキと一体となった西側の芸術広場(屋外舞台)は地域との交流を育むコミュニティランドマークともなっています。そして小学校に求められるセキュリティと公開性の両立に関しても、学びの空間と地域をつなぐ機能とクッションとなる緩衝機能を、外部部に設けられたポケットパークや緑道(将来的には地域住民の日常動線として開放することも可能)が提供しています。

新校舎でありながらも時間の継承を感じさせるデザインや、地域の皆さんの利用を前提に開き方を調整する仕組みは、緑・オープンスペースの機能を上手く活かした大阪府知事賞にふさわしい作品であり、これからも地域とともに新たな歴史を作り出していくシンボルとなることを期待します。(大阪大学 松本 邦彦)



一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会 関西支部長賞

枚方市総合文化芸術センター

【事業主】枚方市
【設計者】(株)日建設計
【施工者】前田建設工業(株)
(株)西川造園
(株)前田造園

Address

G 枚方市新町

Review

背後に大きな芸術ホールがあると全く感じさせない豊かな緑に囲まれたエントランス芝生広場、建築内も含め随所で居心地の良い緑との交わり、敷地の境界を周辺と馴染ませるデザインの配慮など、建築設計段階からしっかり計画検討されたからこそ実現された大変素晴らしい公共ランドスケープ事例である。ほとんどの高木は各場所を想定しながら選定して植えられたというだけあって、樹木の質の高さと場所における収まりも素晴らしい。民間の優良なプロジェクトと同様の質の高さを公共工事でも担保されていることに、関係者の皆様方の並々ならぬ努力に敬意を表します。

屋内外の自然と一体となった上質の空間が、地域全体の空間の質の向上に大きく貢献しており、「市内の緑化活動のフラッグシップとなる」という高い志が見事に現実化されている。(株)庭樹園 當内 匡)



公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会 会長賞

グランドメゾン新梅田タワー THE CLUB RESIDENCE

【事業主】積水ハウス(株)
三菱地所レジデンス(株)
東急不動産(株)
東京建物(株)
エヌ・ティ・ティ都市開発(株)
(株)アサヒプロパティス

【設計者】(株)竹中工務店
大阪一級建築士事務所

【施工者】(株)竹中工務店大阪本店

Address

D 大阪市北区大淀南

Review

総戸数871戸の大規模集合住宅と店舗・保育所の複合施設である。「都心の里山」をテーマとし、大阪の気候風土に根ざした在来種を中心に整備された公開空地は3,600㎡を超えているが、建物群は道路から大きく控えて配置されていることから、中庭のような落ち着きを醸し出している。防災広場ともなる芝生広場が中央にあり、これを取り巻くように鳥や蝶が好む樹種によって構成された草地や樹林地、散策路、石畳みの小径、ピオトープなどが配置されている。回遊することで多彩な環境を味わうことができ、自然と人との新たな交流の場となっている点が注目される。

建物形状を見ても分かる通り、35階部分はセットバックしている。ここには住人の憩いの空間であるスカイラウンジがあるが、これと連動して戸外空間「スカイテラス」の緑が整備されており、淀川・六甲山系・大阪湾の眺望や、夏には花火を楽しむことができる。さらに店舗・保育所棟の屋上にはコミュニティサロンや入居者専用のプライベートテラスがあり、子どもが遊ぶ様子を安心して見守ることができる。

大阪の中心部において街の緑の向上に寄与し、生物多様性を図りつつ、地域住民の新たな憩い・交流、安全・安心の場を創出している点が高く評価され、授賞に至った。(京都市芸術大学 仲隆裕)



審査委員長 特別賞

大阪梅田ツインタワーズ・サウス

【事業主】阪神電気鉄道(株)
阪急電鉄(株)

【設計者】(設計) (株)竹中工務店
(基本計画・特区申請・基本設計) (株)日本設計

【施工者】いなせ建設(株)
(造園) 阪神園芸(株)

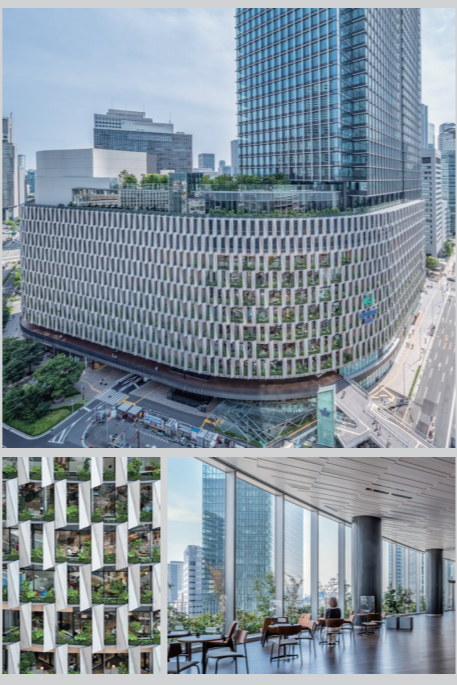
Address

E 大阪市北区梅田

Review

都心部の再開発が進み変貌著しい大阪駅界隈に、斬新な都市景観が生み出された。まず目を奪われるのは、低層部に広がる外壁全体を覆う壮大な壁面緑化である。一定のリズムを刻む硬質なアルミパネルと、多様な植栽で構成された大小のプランターのみならず、建物内からの視線も熟慮されている点、かつ、人々はもちろん、生育する生物の動線も考慮し地上部から屋上広場に至るまで緑地が立体的に展開している点も、高く評価できる。

今後、時と共に植栽が肥大・伸長していき、また異常気象が常態化しつつある状況下、枝折れや根上りの防止等、健全かつ安全な状態を維持する植栽管理が課題であり、その徹底した管理体制のもと、都心のシンボリックな風景として未永く定着・熟成していくことを期待したい。(奈良県立大学 井原 綾)



奨励賞

富田林の家

【事業主】三谷勝章
【設計者】三谷勝章
荻野景観設計
(荻野寿也、荻野彰大(造園))

【施工者】いなせ建設(株)
佐藤礼二
荻野景観設計(造園)

Address

F 富田林市

Review

本作品は敷地面積約150㎡の戸建て住宅であるが、接道部をセットバックし地形勾配を持たせ、全面クローバーに覆われた斜面緑地に庭石と樹木を適度に配し、この斜面緑地を前景として塀の向こうの中庭の緑と続き、高さを抑えた平屋の大屋根の背景に緑を垣間見ることが出来る重なり合う緑のつながりとともに、緑と住戸とが相互に作用する関係性を感じられる風景が創出されています。

生垣や柵、塀等で構成される通常のやや閉鎖的な戸建て住宅地が続く風景の中で、開放的で広がりのある空間と緑が街並みに提供されており、小型の物件ではあるものの、通常の戸建て住宅地の風景に一石を投じており、きらっと輝く作品であります。(大阪府立大学 増田 昇)



ランドスケープマネジメント部門

—まちが笑顔になるみどりづくり—

奨励賞

花みどり友の会

【活動者】花みどり友の会

Address

A 大阪市港区八幡屋公園八角花壇、港区役所庁舎前花壇など

Review

大阪市港区の協働のまちづくりの一環で取り組まれている、港区内の花とみどりのボランティア活動である。行政の働きかけで始まった活動は、ともすると受け身的になりがちで、マンネリ化しやすいものだが、港区の「花みどり友の会」はそうではない。グリーンコーディネーター、緑化リーダー、花友リーダーと一般ボランティア、総勢121人を数えるメンバーが、日々楽しみながら、互いに学び合いながら、財政の厳しさにも負けず前向きに知恵を出し合い、公園事務所のアドバイスを受けながら、花壇のデザインや植付けの考え方を見直し、宿根草や山野草の導入など、花とみどりの質を高め、コミュニティを育み、生活をより豊かなものにしている様子が、生き生きと伝わってくる。

さらなる発展を期待したい。(大阪ガスネットワーク(株) 弘本由香里)



—まちが美しくなるみどりづくり—

—まちが笑顔になるみどりづくり—